

## アフリカレポート 総目次 (No.11 ~ No.20)

権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アフリカレポート
発行年	1995-03
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00008511">http://hdl.handle.net/2344/00008511</a>

# アフリカレポート

## 総目次 (No.11~No.20)

	筆者	ページ		筆者	ページ
<b>●Vol.11(1990年9月)</b>					
<b>小特集 民主化への胎動?</b>					
現代アフリカの政治と民主化 (巻頭言)	小田英郎	1	チャドの政変——軍閥、金庫、 対外援助の力学	勝俣 誠	6~9
コートジボワールの政治危機	原口武彦	2~6	リベリアの内戦	原口武彦	10~13
ベナン人民共和国の終焉 ——国民結集全国会議を中心 に	勝俣 誠	7~10	図解：アフリカと日本		14~17
ナイジェリア：「二党制」導入 とその展望	望月克哉	11~14	アビジャンの不良“ヌッシ” (現地通信)	鈴木裕之	18~19
ガボン：一党制の軌跡と民主 化の動き	落合雄彦	15~18	複数政党制へ移行したザンビ ア	児玉谷史朗	20~24
ザイールにおける政治改革 ——モブツ体制の動揺とそ の原因	武内進一	19~23	イギリスの反アパルトヘイト 運動と日本	堀江浩一郎	25~28
マンデラ釈放後の南アフリカ 共和国	林 晃史	24~27	ナイジェリアの政党の変遷	戸田真紀子	29~32
図解：最近のアフリカ「民主 化」への動き		28~29	アフリカと日本——21世紀の ための学習機会	B・K・アソン	33~36
文献目録(サハラ以南アフリ カの政治変動)		30~33	最近のマラウィにおける労働 移動	小倉充夫	37~40
セネガル：国土開発整備計画 に参加して	三島禎子	34~37	無文字社会を読む、あるいは 声の征服	中村雄祐	41~44
ケニア：野生動物による被害 について	小林聡史	38~41	北部タンザニア農村調査行 (調査員レポート)	池野 旬	45~48
西アフリカの印象——サヘル の国ニジェールを中心に (現地通信)	山口博一	42~43	資料紹介		49~52
タンザニア生活事始	池野 旬	44~47	<b>●Vol.13 (1991年9月)</b>		
資料紹介		48~52	アフリカ国立公園 (African National Parks) (巻頭言)	伊谷純一郎	1
<b>●Vol.12 (1991年3月)</b>			マラウィの構造調整	坂元浩一	2~5
巻頭言	星 昭	1	ケニア穀物公社改革の現状	小島さくら	6~9
ルワンダ内戦の二つの側面 ——難民問題と民主化要求	武内進一	2~5	ウガンダの構造調整	大林 稔	10~11
			ナイジェリアの構造変化と農 村変容	島田周平	12~16
			ゴールドラッシュの後で—— 政治経済的変化とアニュー 人の対応	栗本英世	17~20
			南アフリカ・アフリカ民族会 議(ANC)全国大会	林 晃史	21~25
			図解：アフリカの難民		26~27

	筆者	ページ		筆者	ページ
どこまでも遠かった村——よ そ者とダンの少年	真島 一郎	28～31	アフリカの地域経済統合再生 の兆し	大林 稔	2～5
マリの政変	原口 武彦	32～34	ガーナ：第四共和制への道のり アフリカにおける「民主化」 の諸相——コンゴの事例と ザイールとの比較	高木 桂一	6～10
モザンビーク人難民キャンプ 訪問記	富岡 明子	35～38	民主南アフリカ会議	武内 進一	11～15
タンザニアの食糧危機ふたたび (調査員レポート)	池野 旬	39～42	アフリカ諸国の統計資料：収 集と蔵書構成	林 晃史	16～19
日本アフリカ学会第28回学術 大会に参加して	高根 務	43～44	二つのアフリカとイスラム—— モーリタニアの事例から		20～21
資料紹介		45～48	セクー・トゥーレ思想の再検 討——生誕70周年によせて 調査の戦略と倫理——ケニア のある町より	宮治 一雄	22～26
●Vol.14 (1992年3月)			教育と出版におけるスワヒリ 語の地位——タンザニアの 場合	高林 敏之	27～30
世界のアフリカ化(巻頭言)	山口 昌男	1	南部アフリカ行	上田 元	31～34
マダガスカルの不思議な政変劇	千代浦 昌道	2～5	タンザニア農村調査から (調査員レポート)	竹村 景子	35～38
ザンビア：民主化の風はどこ から吹いてきたのか	小倉 充夫	6～9	資料紹介	原口 武彦	39～44
引き続きザイールの政治的混 乱——暴動の後で	武内 進一	10～13	●Vol.16 (1993年3月)	池野 旬	45～48
図解：アフリカの政治的民主 化(その2)		14～15	アフリカ援助を下から見れば (巻頭言)		49～52
ケニア政治調査行：1992年1月	津田 みわ	16～20	アンゴラの政治情勢——民主 化への道程と苦悩	日野 舜也	1
ガーナ：民主化への道	高根 務	21～24	ガーナ第四共和制——複数政 党制下の「一党支配」	青木 一能	2～5
コートジボワールの民営化政策	原口 武彦	25～28	ソマリア内戦——民族、部族、 氏族	高根 務	6～9
タンザニアの北パレ山間農村 の変容	吉田 昌夫	29～32	政治化する援助国会合	原口 武彦	10～13
ジンバブエの新五カ年経済計 画1991～95年——「ジンバ ブエ：経済改革のための枠 組み(1991～95年)」の紹介	林 晃史	33～36	アフリカの人口動向と人口政策	大林 稔	14～17
セネガルに老人休暇村？	小川 了	37～40	都市の中の牧畜民——ナイロ ビのマサイとソマリ	早瀬 保子	18～22
ダルエスサラームのゴミ問題 (調査員レポート)	池野 旬	41～44	ケニア社会の不安	池谷 和信	23～27
資料紹介		45～48		内田 雄一	28～32
●Vol.15 (1992年9月)					
アフリカ研究の成熟と退廃 (巻頭言)	米山 俊直	1			

	筆者	ページ		筆者	ページ
コートジボワールのアチェケ づくり	茨木 透	33~36	ングダエ暗殺後のブルンジ情勢	佐藤 章	14~17
アフリカ農業援助からの教訓	細見 眞也	37~40	ヴィクトリア湖岸の水産業	秋本 徹	18~21
日米アフリカニスト会議報告	吉田 昌夫	41~44	マディナ村(マリ)に住んで	村上一枝	22~25
タンザニアの構造調整政策 (調査員レポート)	池野 旬	45~48	スワジランド研修行	坂井真紀子	26~29
資料紹介		49~52	ウガンダ再訪記	吉田 昌夫	30~33
			ウフェ・ボワニ大統領の死	原口 武彦	34~37
			第2回アフリカ・米・日ア フリカニスト会議	林 晃史	38~40
●Vol.17 (1993年9月)			ターニング・ポイント——南 ア総選挙の展望	平野 克己	41~44
地球の歴史とアフリカ大陸 (巻頭言)	諏訪 兼位	1	(調査員レポート)		45~48
南アフリカ共和国の政治情勢	林 晃史	2~6	資料紹介		
1992年ケニア総選挙——複数 政党制回復とKANU	津田 みわ	7~10	●Vol.19 (1994年9月)		
ナイジェリア：大統領選挙を めぐる混乱	望月 克哉	11~15	地域研究概論とアフリカ研究 (巻頭言)	犬飼 一郎	1
ブルンジ民主化の中のツチと フツ——部族を語ることに ついて	佐藤 章	16~20	冷戦後の国際関係とアフリカ	遠藤 貢	2~5
独立エリトリアの課題	佐藤 寛	21~24	CFAフランの切り下げとフ ラン圏アフリカの展望	大林 稔	6~9
アフリカ諸国の政治経済動向 と類人猿調査	五百部 裕	25~28	小特集-1 アフリカの地域 紛争		
ナイジェリアの環境関連組織	板倉 豊	29~32	和平、そして内戦の再発—— 忘れられたアンゴラ内戦	青木 一能	10~13
ザンビアの民主化と農村開発	高田 浩幸	33~36	ルワンダ：再燃した内戦の中 のツチとフツ	佐藤 章	14~17
ベンバの食用イモムシ採集	杉山 祐子	37~40	アフリカ自然保護活動におけ る保護思想のあり方——日 本の国際貢献に向けての私見	岡安 直比	18~22
構造調整政策とジェンダー (研究動向紹介)	高根 務	41~44	コンゴ再訪：動乱の後で	武内 進一	23~26
光差す方へ(調査員レポート)	平野 克己	45~48	ナイジェリア：問われるリー ダーシップ	望月 克哉	27~30
資料紹介		49~52	小特集-2 南アフリカ 南アフリカ共和国初の普通選 挙	藤本 義彦	31~34
●Vol.18 (1994年3月)			新国家誕生(調査員レポート)	平野 克己	35~38
アフリカ研究の二つの立場 (巻頭言)	坂本 慶一	1	アフリカ民族会議 復興開発 計画：一つの政策枠組 (資料紹介)	林 晃史	39~42
ポスト構造調整をめぐる	池野 旬	2~5			
ウガンダ：構造調整成功の要 因と今後の課題	高橋 基樹	6~9			
コンゴ：作られた部族抗争	武内 進一	10~13			

		筆者	ページ	紹介資料一覧	
				著者・書名	(紹介者)
構造調整とアフリカ農業 (国際ワークショップ報 告)		高根 務	43~44	●Vol.11 (1990年9月)	
資料紹介			45~48	徳永瑞子『エチオピア日記——飢餓救済 キャンプでの150日』	(鈴木陽子)
●Vol.20 (1995年3月)				関根良雄『知っておきたいアフリカの歴史』	(井村 進)
アフリカ人の自主性はいずこ に (巻頭言)		吉田 昌夫	1	伊谷純一郎『自然の慈悲』	(原口武彦)
特集ルワンダ				細見眞也『アフリカの価値観——無文字 社会の伝統思想と日本の教育』	(丹埜靖子)
内戦と相互不信のなかで—— ルワンダ・ブルンジの危う い平和		村田 信一	2~5	ヘニング・メルバー編『わたしたちのナ ミビア——ナミビアプロジェクトによ る社会科テキスト』	(児玉谷史朗)
内戦と民主主義——ルワンダ 人NGOの活動		松本 幸花	6~9	H・マイナー『未開都市トンブクツ』	(武内進一)
誰がルワンダに武器を与えた のか?——NGOによる調 査資料から		武内進一	10~15	白石頭二・山本富美子編『ティンガティン ガ——アフリカン・ポップアートの世界』	(津田みわ)
ルワンダ難民支援と自衛隊派遣 コートジボワール、セネガル 調査行——旅をして何が見 えたか		川端正久	16~19	M.M.Huq, <i>The Economy of Ghana: The First 25 Years since Independence</i>	(細見眞也)
焦土からの復活に向けて—— マダガスカル自然破壊		佐藤 章	20~23	●Vol.12 (1991年3月)	
アフリカ教育問題シンポジウム		島 泰三	24~26	スティーブ・ピコ『俺は書きたいことを 書く——黒人意識運動の思想——』	(林 晃史)
南部アフリカ研究の現状—— <i>Journal of Southern African Studies</i> 創刊20周年 記念学会に参加して		丹埜 靖子	27~30	和田正平編『アフリカ民族技術の伝統と 変容: 国立民族学博物館研究報告別冊 12号』	(原口武彦)
新生南アフリカの対外経済関 係 (調査員レポート)		遠藤 貢	31~34	ファティマ・ミーア『ネルソン・マンデ ラ伝——こぶしは希望より高く』	(鈴木陽子)
資料紹介		平野 克己	35~38	国際農林業協力協会『熱帯アフリカの土 壤資源』	(武内進一)
『アフリカレポート』総目次 (No.11~No.20)			39~42	大阪外国語大学アラビア・アフリカ語学 科スワヒリ語研究室『スワヒリ&アフ リカ研究 第1号』	(児玉谷史朗)
			43~48	板垣真理子『おいでよアフリカ』	(津田みわ)
				丹埜靖子編『(文献解題) ケニアの教育 ——文献からのアプローチ——』	(細見眞也)
				●Vol.13 (1991年9月)	
				末原達郎『熱帯アフリカの食糧生産』	(武内進一)

- ジェームス・ブルース『ナイル探検——17・18世紀大旅行記叢書10』 (鈴木陽子)
- ステファン・ライト, ジャニス・N・ブラウン  
フット編『変貌するアフリカ——政治経済システムの自立と国際関係——』 (丹埜靖子)
- ユベール・デシャン『マダガスカル』, 山口洋一『マダガスカル——アフリカに一番近いアジアの国——』 (林 晃史)
- 岡倉登志『「野蠻」の発見——西洋近代の見たアフリカ——』 (井村 進)
- 秋葉幹人『アフリカ』 (細見眞也)
- 椎名誠『あやしい探検隊アフリカ乱入』 (津田みわ)
- Vol.14 (1992年3月)
- 田中二郎・掛谷誠編『ヒトの自然誌』 (高根 務)
- パトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (細見眞也)
- 林 晃史編『アフリカの歴史——アフリカの21世紀 第1巻』, 日野舜也編『アフリカの文化と社会——アフリカの21世紀 第2巻』, 小田英郎編『アフリカの政治と国際関係——アフリカの21世紀 第3巻』 (高根 務)
- R・サンドブルック『アフリカ経済危機の政治分析』 (林 晃史)
- パトリック・マーンハム『深く、アフリカへ』 (鈴木陽子)
- 勝俣 誠『現代アフリカ入門』 (井村 進)
- 聖心女子大学キリスト教文化研究所編『アフリカとの対話——宗教文明叢書2』 (丹埜靖子)
- 松園万亀雄『グシイ——ケニア農民のくらしと倫理』 (津田みわ)
- Vol.15 (1992年9月)
- 室井義雄『連合アフリカ会社の歴史 1879—1979年——ナイジェリア社会経済史序説』 (武内進一)
- 島田周平『地域間対立の地域構造——ナイジェリアの地域問題——』 (丹埜靖子)
- 川田順造『西の風・南の風——文明論の組みかえのために』 (細見眞也)
- 森 淳『アフリカの陶工たち』 (高根 務)
- 中林伸浩『国家を生きる社会——西ケニア・イスハの氏族』 (津田みわ)
- マンデラ歓迎日本委員会編『ポスト・アパルトヘイト』 (鈴木陽子)
- 川端正久・佐々木建編『南部アフリカ——ポスト・アパルトヘイトと日本』 (林 晃史)
- アジア経済研究所『発展途上地域地図目録 第2巻 アフリカ地域編』 (井村 進)
- Vol.16 (1993年3月)
- 野町和嘉『地球へ! RIFT VALLEY ODYSSEY』 (津田みわ)
- ライアル・ワトソン『わが心のアフリカ』 (鈴木陽子)
- パトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (高根 務)
- W・E・B・デュボイス『黒人のたましい』 (林 晃史)
- 中嶋鴻明『ジンバブエの風はどちら向き』 (林 晃史)
- 大賀敏子『心にしみるケニア』 (丹埜靖子)
- 石川薫『アフリカの火——コンゴの森ザイールの川』 (井村 進)
- 山田一廣『知っておきたいエチオピアの実像——アフリカ最古の国の素顔』 (細見眞也)
- Vol.17 (1993年9月)
- 川田順造『サバンナの王国』 (佐藤 章)
- 佐藤 俊『レンディーレ——北ケニアのラクダ遊牧民』 (丹埜靖子)
- 森 明雄『カメルーンの森の語り部』 (鈴木陽子)
- 梶 茂樹『(ことばを訪ねて) アフリカをフィールドワークする』 (池野 旬)
- 荒木美奈子『女たちの大地——開発援助フィールドノート』 (高根 務)
- 青木澄夫『アフリカに渡った日本人』 (望月克哉)
- P・ピアード『ジ・エンド・オブ・ザ・ゲーム』 (津田みわ)
- ネルソン・マンデラ『闘いはわが人生』 (林 晃史)

●Vol.18 (1994年3月)

- 岡倉登志・北川勝彦『日本・アフリカ交  
流史——明治期から第二次世界大戦期  
まで』 (林 晃史)  
勝俣 誠『アフリカは本当に貧しいのか』 (細見真也)  
赤阪 賢・日野舜也・宮本正興編  
『アフリカ研究——人・ことば・文化』 (池野 旬)  
吉田昌夫・小林弘一・古沢紘造編『よみ  
がえるアフリカ』 (丹埜靖子)  
嶋田義仁『異次元交換の政治人類学』 (原口武彦)  
ムトニ・リキマニ『ケニアの女の物語』 (望月克哉)  
アンヌ・ユゴン『アフリカ大陸探検史』 (津田みわ)  
カマンテ・ガトゥラ『闇への懐れ——も  
うひとつの「アフリカの日々」』 (佐藤 章)

●Vol.19 (1994年9月)

- コリン・ターンプル『豚と聖霊——ライ  
フ・サイクルの人類学』 (池野 旬)  
森 康成『アフリカ生活誌』 (鈴木陽子)  
オスマン・サンコン『サンコン少年のあ  
ふりか物語』 (津田みわ)  
ジェフリー・ハワード『サハラ砂漠縦断  
記』, 野町和嘉『サハラ縦走』 (井村 進)  
川端正久・佐藤 誠編『新生南アフリカ  
と日本』 (林 晃史)

- 楠瀬佳子『南アフリカを読む——文学・  
女性・社会』 (細見真也)  
トニ・モリスン『白さと想像力——アメ  
リカ文学の黒人像』 (佐藤 章)  
土屋 哲『現代アフリカ文学案内』 (丹埜靖子)

●Vol.20 (1995年3月)

- 『変わりゆく南部アフリカと日本の経済  
協力——課題と提言〈Forum (国際開  
発センター)No.14特集号〉』 (林 晃史)  
サンガ・N・カザディ『キルウェ ザ・  
ハンター』 (児玉由佳)  
佐藤真佐美『山梨学院大学箱根駅伝物語』 (丹埜靖子)  
服部伸六『アフリカ歴史人物風土記』 (佐藤 章)  
立石俊一『日本人とアフリカ人』 (高根 務)  
『明治大学図書館所蔵「アフリカ文庫」目  
録』 (鈴木陽子)  
A・カブラル協会編『アミルカル=カブ  
ラル 抵抗と創造——ギニアビサウと  
カボベルデの独立闘争』 (武内進一)  
和田正平『裸体人類学——裸族からみた  
西欧文化』 (細見真也)